

安全データシート

作成日：2025/4/1

改定日：2025/4/1

バージョン：1

1 化学品及び会社情報

化学品の名称 : エコーティング 無鉛 各色・各艶
供給者の会社名称 : 日亜ペイント株式会社
担当部門 : 技術部
住所 : 大阪府交野市幾野5-6-12

電話番号 : 072-892-6101
緊急連絡電話番号 : 072-892-6101
ファクシミリ番号 : 072-892-6105
作成日 : 2025/4/1

推奨用途及び使用上の制限

用途セクター[SU] : 工業使用
推奨用途 : コーティング剤および塗料、充填剤、接合剤、希釈剤
使用上の制限 : データなし

2 危険有害性の要約

GHS分類：

引火性液体：区分2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性：区分2A
発がん性：区分1A
生殖毒性：区分1B
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分1（中枢神経系 視覚器 全身毒性）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分2（呼吸器系 中枢神経系 全身毒性）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）：区分3（気道刺激性、麻酔作用）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分1（中枢神経系 視覚器）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）：区分2（呼吸器系 血液系）
水生環境有害性 短期（急性）：区分3
水生環境有害性 長期（慢性）：区分3

注：急性毒性経口の不明成分は9%。急性毒性経皮の不明成分は22%。急性毒性吸入（気体）の不明成分は9%。急性毒性吸入（蒸気）の不明成分は44%。急性毒性吸入（粉塵/ミスト）の不明成分は96%。水生環境有害性急性毒性の不明成分は11%。水生環境有害性慢性毒性の不明成分は13%。

GHSラベル要素：

絵表示



注意喚起語： 危険

危険有害性情報：

- ・ 引火性の高い液体及び蒸気。
- ・ 強い眼刺激。
- ・ 呼吸器への刺激のおそれ。
- ・ 眠気又はめまいのおそれ。
- ・ 発がんのおそれ。
- ・ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
- ・ 臓器の障害（中枢神経系 視覚器 全身毒性）。
- ・ 臓器の障害のおそれ（呼吸器系 中枢神経系 全身毒性）。
- ・ 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害（中枢神経系 視覚器）。
- ・ 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（呼吸器系 血液系）。
- ・ 水生生物に有害。
- ・ 長期継続的影響によって水生生物に有害。

注意書き：**【安全対策】**

- ・ 使用前に取扱説明書を入手すること。
- ・ 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- ・ 熱、高温のもの、火花、裸火、及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- ・ 容器を密閉しておくこと。
- ・ 容器を接地しアースをとること。
- ・ 防爆型の[電気機器/換気装置/照明機器]を使用すること。
- ・ 火花を発生させない工具を使用すること。
- ・ 静電気放電に対する措置を講ずること。
- ・ 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・ 粉塵/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- ・ 取り扱い後は手をよく洗うこと。
- ・ この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- ・ 屋外または換気の良い場所だけで使用すること。
- ・ 環境への放出を避けること。
- ・ 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

【応急措置】

- ・ 皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水[又はシャワー]で洗うこと。
- ・ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・ ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- ・ 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
- ・ 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- ・ 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。
- ・ 特別な処置が必要である（このラベルの注意書きを見よ）。
- ・ 眼の刺激が続く場合：医師の診察/手当てを受けること。
- ・ 火災の場合：消火するために粉末ABC消火器を使用すること。

【保管】

- ・換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- ・換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- ・施錠して保管すること。

【廃棄】

- ・内容物/容器を(国際、国、都道府県、市町村の規則に従って) 廃棄すること。

他の危険有害性：

3 組成及び成分情報

混合物

成分名	濃度 %	CAS No.	PRTR種類	労働安全 衛生法-通 知義務	毒物及び 劇物取締 法	化審法整 理番号	化審法対象物質
C. i. PigmentOrange34	0~2.4%	12236-62-3					
C. I. Pigment Red 48:2	0~2.4%	7023-61-2					
C. I. PigmentViolet23	0~0.6%	215247-95-3					
C. I. PigmentYellow151	0~6.1%	31837-42-0					
ロジン	0~16.2%						
酢酸エチル	19.3~29.3%	141-78-6		●		2-726	優先評価化学物質
メタノール	10.2~15.5%	67-56-1		●			
酸化第二鉄 (赤色酸化鉄)	0~6.9%	1309-37-1		●			
ロジン酸カルシウム	0~0.1%	9007-13-0					
石油留分	0~0.1%	64742-47-8					
添加剤	0~5.0%						
二酸化ケイ素	0~0.1%	7631-86-9		●			
C. I. PigmentWhite6	0~12.8%	13463-67-7		●			
プロピレングリコールモノメチルエーテル	1.2~4.3%	107-98-2		●			
プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート	0~2.5%	108-65-6					
高沸点芳香族ナフサ	0~0.5%	64742-94-5					
硫酸バリウム	0~0.4%	7727-43-7					
非晶質シリカ(シリカゲル、沈降シリカ)	0~1.9%	112926-00-8					
酢酸ブチル	18.7~27.0%	123-86-4		●			
C. I. PigmentViolet19	0~2.3%	1047-16-1					
イソブタノール	1.1~1.6%	78-83-1		●			
イソプロピルアルコール	1.8~3.6%	67-63-0		●		2-207	優先評価化学物質
酸化鉄水和物	0~7.5%	20344-49-4					
ニトロセルローズ	4.3~8.4%	9004-70-0		●			
カーボンブラック	0~1.9%	1333-86-4		●			
フタル酸樹脂	3.1~20.0%						
C. I. PigmentBlue15:4	0~3.6%	147-14-8		●			
C. I. PigmentYellow139	0~2.4%	36888-99-0					
C. I. PigmentGreen7	0~2.5%	1328-53-6		●			

濃度限界未満だがSDS作成濃度以上の成分：

イソプロピルアルコール, 3.6%, 特定標的臓器反復区分 2；

4 応急措置

応急措置の描写

全般的な注意事項：

疑わしい場合や症状が現れている場合は、医師に相談すること。

吸入した場合：

被災者を空気の新鮮な場所に移し、暖めて安静にさせること。呼吸困難または呼吸停止のときは、人工呼吸を開始すること。蒸気を吸い込んだ場合、中毒症状は数時間後に初めて現れることがあるので、必ず医者にかかること。

皮膚に付着した場合

直ちに以下のもので洗浄すること：

水とせっけん

熱い溶解物に触れた際には、（次のもの）で皮膚を手当てすること：

非該当

使用してはならない洗浄液：

データなし

眼に入った場合：

眼の刺激があれば眼科医にかかること。直ちに洗眼用シャワーまたは水で、注意深く念入りに洗い流すこと。

飲み込んだ場合：

直ちに医師の診断/手当てを受けること。被災者の意識があるときは、吐かせること。

飲み込んだ場合、直ちに（以下のものを）飲ませること：

データなし

応急措置をする者の保護に必要な注意事項：

応急処置：自己防護に留意すること。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

症状

以下の症状が表われ得る：

頭痛 腹痛 めまい 吐き気

影響：

意識不明状態

医師に対する特別な注意事項：

症状に応じて処置すること。

特別な治療：

データなし

5 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤：

アルコール耐性の泡 二酸化炭素（CO2） 乾燥した砂

使ってはならない消火剤：

棒状注水

火災時の特有な危険有害性

危険有害な燃焼生成物：

二酸化炭素（CO2） 一酸化炭素

消火作業へのアドバイス

消火作業者の保護具：

自給式呼吸器具及び化学防護服を着用すること。

その他のデータ：

汚染された消火用水は、分別して回収すること。排水管や自然水系に流入させないこと。安全に実行可能であれば、破損していない容器を危険区域から遠ざけること。閉鎖空間で二酸化炭素を使用する場合は注意すること。二酸化炭素は酸素を置換し得る。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

人体に対する注意事項：

個人用の保護具を使用すること。

保護具：

適切な呼吸保護具を用いること。

緊急時の措置：

すべての発火源を除去すること。十分に換気をする。人々を安全な場所に避難させること。

環境に対する注意事項：

下水道、あるいは自然水系に流入させないこと。より広い面積への広がりを防ぐこと（例えば、堰き止めるあるいはオイルを遮断する）。ガス漏れ、あるいは自然の水系、土壌、下水道に漏洩する際には、担当当局に連絡すること。

封じ込め及び浄化の方法・機材

封じ込めに関して

取り除くために適した材質：

砂 珪藻土

浄化にあたって

希釈あるいは中和のために適した材料：

データなし

他の項を参照：

安全取扱い：参照箇所 第7項 廃棄物処理：参照箇所 第13項 個人用保護具：参照箇所 第8項

7 取扱い及び保管上の注意

取扱い

防護措置

安全な取扱いの為のアドバイス

忌避事項：

蒸気またはミスト/エアゾールの吸入 皮膚接触 目との接触

取り扱い時に充填するガス：

非該当

取り扱い時に充填する液体：

非該当

注意事項：

容器は、注意深く開いて取り扱うこと。換気のよい場所でのみ、使用すること。その材料は、むき出しの光源、炎、およびその他の発火源から離れた場所に限って用いること。人身用防護装備を身に付けること（第8章を参照）。製品を取り出した後は、必ず容器を密閉すること。

火災防止のための措置

湿潤状態を保持するための物質：

非該当

混合禁止物質：

酸化剤

隔離すべき物質：

可燃性物質 酸化剤

注意事項：

静電気対策を講じること。発火源から遠ざけておくこと - 禁煙。熱源（例えば、高温の表面）、火花や裸火から遠ざけておくこと。慎重に取り扱うこと - 衝撃、摩擦、打撃を回避すること。蒸気は、空気とともに爆発性の混合物を形成する可能性がある。爆発の危険があるため、その蒸気の地下室、煙道、下水への流入を防ぐこと。製品は熱くなると、可燃性の蒸気を発生する。

エアゾールおよび粉塵生成を回避するための対策

充填、計量、サンプリング時に使用すべき装置：

データなし

以下のタイプの局所換気を用いること：

データなし

環境に対する注意事項：

マンホールや下水道は、製品が流入するのを防ぐこと。

特定の要求あるいは取り扱い規則：

製品を吸収したぞうきんを、ズボンのポケットの中に携行しないこと。

一般的な労働衛生上の注意事項：

皮膚、眼、衣服との接触を避けること。汚れが付着し、濡れた衣服は、脱衣すること。濡れた衣服は、再使用する前に、洗わなければならない。製品の取り扱い後、直ちに念入りに皮膚を洗浄すること。

保管

包装材料

容器または設備向けに適切な材料：

溶媒耐性のある材料

容器または設備向けには、不適切な材料：

データなし

共同貯蔵に関する注意事項

保管分類：

その他、潜在的な爆発性有害物質

混触禁止物質：

可燃性物質 酸化剤

保管条件に関するその他情報：

加熱すると、圧力上昇し破裂する危険がある。容器は破損から守ること。容器を密閉して換気の良い冷所で保管すること。

8 ばく露防止及び保護措置

管理パラメーター

ばく露限界値：

成分	CAS NO.	国	許容濃度		最大許容濃度		管理濃度	
			mg/m3	ppm	mg/m3	ppm	mg/m3	ppm
メタノール	67-56-1	JP	260	200				200
イソプロピルアルコール	67-63-0	JP			980	400		200
酢酸エチル	141-78-6	JP	720	200				200
酢酸ブチル	123-86-4	JP	475	100				150
イソブタノール	78-83-1	JP	150	50				50
C. I. Pigment White 6	13463-67-7	JP	0.3					

生物学的限界値：

成分	CAS NO.	国	単位	限界値	パラメータ
メタノール	67-56-1	JP	mg/L	20	Methanol

ばく露制御

設備対策

最初に：取扱い設備は防爆型を使用すること。

物質/混合物の使用におけるばく露防止の関連対策：

屋内使用の場合、装置を密閉化し、局所排気装置又は全体排気装置を設置する。取扱いの作業場には、洗眼器と安全シャワーを設置する。

ばく露を防ぐための技術的な対策：

空気中の濃度を職業ばく露限界以下に保つため、局所排気と全体換気を行う。

個人用保護具

眼の保護具

適切な眼の保護：

保護眼鏡 ゴーグル

注意事項：

手の保護具

適切な手袋の種類：

保護手袋

適した材料：

ブチルゴム

要求される特性：

耐溶剤性

注意事項：

前述した保護手袋を特別な用途に使用する場合、手袋の製造者に、化学物質耐性について確認することが望ましい。

皮膚及び身体の保護具

適切な保護具：

化学物質耐性の安全靴 保護前掛け

要求される特性：

耐溶剤性

推奨される材料：

データなし

呼吸用保護具

呼吸用保護具が必要なケース：

暴露限界値の超過。 不十分な換気。 長期にわたる暴露。

経験的に呼吸用保護具が必要な作業：

データなし

適切な呼吸用保護具：

ABEK-P3 ABEK-P2

注意事項：

技術的な吸引または換気対策が、不可能もしくは不十分ならば、呼吸保護具を着用しなければならない。呼吸保護具は、製品を取り扱うとき、発生する可能性がある有害物質の最大濃度（ガス、蒸気、エアロゾル、粒子）に見合う等級のフィルターを使用すること。この濃度を上回るときは、自給式呼吸保護具を利用すること。使用前に、漏れ/透過がないかどうかを点検すること。

環境ばく露管理

ばく露を防ぐための技術的な対策

排気ガス洗浄に用いるフィルターのタイプ：

データなし

排ガス洗浄に用いる再生・削減技術：

データなし

排水に適用する化学処理方法：

中央生物学的排水処理 下水汚泥処理、例えば熱的汚泥減量 吸着

9 物理的及び化学的性質

物理状態

液体

色

データなし

臭い

有機溶剤臭

融点/凝固点

データなし

沸点又は初留点及び沸騰範囲

64.10℃～77.10℃

可燃性

データなし

爆発下限界・爆発上限界/可燃限界	1.0～11.5%
引火点	8℃
自然発火点	170℃
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	非水溶性
n-オクタノール/水分配係数(log値)	データなし
蒸気圧	5000Pa
密度及び/又は相対密度	0.99±0.1
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10 安定性及び反応性

反応性：

熱に不安定。

安定性：

この混合物は、推奨される保存条件、使用条件、温度条件の下では化学的に安定である。

危険有害反応可能性

溶融した場合：

データなし

気化した場合：

容器破裂の危険

凍結した場合：

データなし

避けるべき条件

乾燥状態：

データなし

隔離された状態：

データなし

微細分散/噴霧/ミストの状態：

爆発危険性

暖めた場合：

爆発危険性 容器破裂の危険

光が影響する場合：

データなし

衝撃や圧力の影響を受けた場合：

爆発危険性 容器破裂の危険

空気流入の場合：

データなし

貯蔵時間を超えた場合：

データなし

貯蔵温度を超えた場合：

容器破裂の危険

混触危険物質

避けるべき物質：

強酸化剤 酸化剤

危険有害な分解生成物：

熱分解により、刺激性の気体や蒸気が放出する可能性がある。

追加情報：

非該当

11 有害性情報

毒性学的影響に対する情報：

急性毒性 経口

メタノール(区分4)LD50 1400mg/kg

急性毒性 吸入(蒸気)

酢酸エチル(区分4)LC50 14640ppm/プロピレングリコールモノメチルエーテル(区分4)LC50

7395ppm/イソブタノール(区分4)LC50 6336ppm

皮膚腐食性/刺激性

高沸点芳香族ナフサ(区分2) /イソブタノール(区分2)

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

非晶質シリカ(シリカゲル、沈降シリカ)(区分2B) /高沸点芳香族ナフサ(区分2A) /メタノール(区分2A) /イソプロピルアルコール(区分2A) /酢酸エチル(区分2B) /酢酸ブチル(区分2B) /プロピレングリコールモノメチルエーテル(区分2B) /プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート(区分2B) /イソブタノール(区分1) /二酸化ケイ素(区分2A)

発がん性

C. I. Pigment White 6(区分2) /カーボンブラック(区分2) /二酸化ケイ素(区分1A)

生殖毒性

メタノール(区分1B) /イソプロピルアルコール(区分2)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

ニトロセルローズ(区分3(麻酔作用)) /酸化第二鉄(赤色酸化鉄)(区分1) /非晶質シリカ(シリカゲル、沈降シリカ)(区分3(気道刺激性)) /高沸点芳香族ナフサ(区分3(気道刺激性)) /高沸点芳香族ナフサ(区分3(麻酔作用)) /メタノール(区分1) /メタノール(区分3(麻酔作用)) /イソプロピルアルコール(区分1) /イソプロピルアルコール(区分3(気道刺激性)) /酢酸エチル(区分3(気道刺激性)) /酢酸エチル(区分3(麻酔作用)) /酢酸ブチル(区分3(気道刺激性)) /酢酸ブチル(区分3(麻酔作用)) /プロピレングリコールモノメチルエーテル(区分3(麻酔作用)) /プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート(区分3(気道刺激性)) /プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート(区分3(麻酔作用)) /イソブタノール(区分3(気道刺激性)) /二酸化ケイ素(区分3(気道刺激性))

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

C. I. Pigment White 6(区分1) /酸化第二鉄(赤色酸化鉄)(区分1) /カーボンブラック(区分1) /メタノール(区分1) /イソプロピルアルコール(区分1) /イソプロピルアルコール(区分2) /二酸化ケイ素(区分1) /硫酸バリウム(区分1)

物理的、化学的及び毒性学的特性に関する症状

経口摂取の場合：

データなし

皮膚接触の場合：

皮膚の脱脂作用がある。

吸入した場合：

吸入すると、吐き気、めまい、腹痛、頭痛などを引き起こす可能性がある。

追加他情報：

適切な呼吸保護具を使用すること。 保護衣服。 ゴム手袋。

12 環境影響情報

生態毒性：

67-63-0、イソプロピルアルコール：

藻類：Scenedesmus Subspicatus(セネデスミス)EC50(mg/L) >1,000(72-h)：増殖阻害，甲殻類：Daphnia magna(オオミジンコ)EC50(mg/L) 9,714(24-h)：遊泳阻害 Crangon crangon(ブラウンシュリンプ)LC50(mg/L) 903(96-h)，魚類：Rasbora Heteomorpha(ハーレクインフィッシュ)LC50(mg/L) 4,200(96-h) Pimephales promelas(ファットヘッドミノー)LC50(mg/L) 6,120(96-h)

残留性・分解性：

67-63-0、イソプロピルアルコール：

良分解 BOD から算出した分解度 86 %

嫌氣的：報告なし。

非生物的:OH ラジカルとの反応性；

対流圏大気中では、速度定数 = 6.2×10^{-12} cm³/分子・sec(室温)で、OH ラジカル濃度を $5.0 \times 10^5 \sim 1 \times 10^6$ 分子/cm³とした時の半減期は1.1～2.3 日と計算される。

N03ラジカルとの反応性；

速度定数 = 2.3×10^{-15} m³/分子・sec(25℃)で、対流圏大気中の夜間におけるN03ラジカル濃度を 2.4×10^8 分子/cm³ とした時の半減期は14.5 日と計算される。**生体蓄積性：**

67-63-0、イソプロピルアルコール： 報告なし。

土壤中の移動性：

データなし

オゾン層への有害性：

67-63-0、イソプロピルアルコール： 該当せず

追加環境毒性学情報：

製品は、前処理（生物学的下水処理場）なしに、自然水系に流さないほうがよい。 地域の排水規定を守ること。 この混合物のデータはない。

13 廃棄上の注意**廃棄物処理方法****製品/包装材料の廃棄**

危険有害性をもたらす廃棄物の特性：

生殖毒性 刺激性 可燃性 生態毒性

廃棄物処理方法のオプション

適切な廃棄方法/残余廃棄物：

廃棄物は該当法規に従って廃棄すること。

適切な廃棄処理/汚染容器と包装：

汚染された包装容器は、中身を完全に空にしなければならず、適切な洗浄後、再利用することができる。 洗浄できない包装容器は、廃棄物として処理しなければならない。

注意事項：

認可を受けた廃棄物処理業者に引き渡すこと。 当局の規定に従って処分すること。

14 輸送上の注意**国連番号**

陸上輸送 (ADR/RID)	1263
内陸水運 (ADN)	1263
海上輸送 (IMDG)	1263
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR)	1263

国連輸送名

陸上輸送 (ADR/RID)	Paint or Paint related material
内陸水運 (ADN)	Paint or Paint related material
海上輸送 (IMDG)	Paint or Paint related material

航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR) Paint or Paint related material

国連分類

陸上輸送 (ADR/RID) 3
内陸水運 (ADN) 3
海上輸送 (IMDG) 3
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR) 3

容器等級

陸上輸送 (ADR/RID) II
内陸水運 (ADN) II
海上輸送 (IMDG) II
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR) II

環境に対する有害性

陸上輸送 (ADR/RID) 非該当
内陸水運 (ADN) 非該当
海上輸送 (IMDG) 非該当
航空輸送 (ICAO-TI / IATA-DGR) 非該当

MARPOL 条約73/78附属書II及びIBC
コードによるばら積み輸送

非該当

海洋汚染物質

非該当

国内規則がある場合の規制情報

陸上輸送： 消防法、毒物及び劇物取締法、高圧ガス保安法に従う。
海上輸送： 船舶安全法、港則法に従う。
航空輸送： 航空法に従う。

15 適用法令

毒物及び劇物取締法：

本製品は毒物及び劇物取締法の毒物及び劇物には該当していない。

労働安全衛生法第五十七条 表示物質：

ニトロセルローズ;C. I. PigmentWhite6;酸化第二鉄（赤色酸化鉄）;カーボンブラック;C. I. PigmentBlue15:4;C. I. PigmentGreen7;メタノール;イソプロピルアルコール;酢酸エチル;酢酸ブチル;プロピレングリコールモノメチルエーテル;イソブタノール;二酸化ケイ素;

労働安全衛生法第五十七条の二 通知物質：

ニトロセルローズ;C. I. PigmentWhite6;酸化第二鉄（赤色酸化鉄）;カーボンブラック;C. I. PigmentBlue15:4;C. I. PigmentGreen7;メタノール;イソプロピルアルコール;酢酸エチル;酢酸ブチル;プロピレングリコールモノメチルエーテル;イソブタノール;二酸化ケイ素;

労働安全衛生法第五十七条 表示物質(令和8年以降施行分)：

非晶質シリカ(シリカゲル、沈降シリカ)(2026/04/01施行);プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート(2026/04/01施行);

労働安全衛生法第五十七条の二 通知物質(令和8年以降施行分)：

非晶質シリカ(シリカゲル、沈降シリカ)(2026/04/01施行);プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート(2026/04/01施行);

労働安全衛生規則第577条の2第3項に基づくがん原性物質：

7631-86-9、シリカ(結晶質、非晶質を包含した二酸化ケイ素)、2023-04-01施行 ;

労働安全衛生法 特定化学物質障害予防規則：

該当せず

労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則：

本製品は第2種有機溶剤又は第2種有機溶剤等に該当する。

労働安全衛生法 がん原性に係る指針対象物質：

該当せず

労働安全衛生法 強い変異原性が認められた化学物質：

該当せず

労働安全衛生法 鉛・四アルキル鉛中毒予防規則：

該当せず

労働安全衛生規則第577条の2 第2項に基づく濃度基準：

1333-86-4、カーボンブラック、八時間濃度基準値0.3 as Respirable Particulate/m³；107-98-2、1-メトキシプロパン-2-オール、八時間濃度基準値50ppm；

労働安全衛生規則第594条の2 第1項に規定する皮膚等障害化学物質：

67-56-1、メタノール、皮膚吸収性；78-83-1、イソブタノール、皮膚刺激性、眼に対する保護具の使用のみ必要；

化学物質管理促進法（PRTR）：

該当せず

消防法：

危険物：危険物第四類 第一石油類 非水溶性 危険等級Ⅱ

化審法：

優先評価化学物質：
イソプロピルアルコール 2-207；酢酸エチル 2-726；

水質汚濁防止法：

指定物質：141-78-6、酢酸エチル；1309-37-1、三酸化二鉄（ⅠⅠⅠ）；147-14-8、ピグメントブルー 15；1328-53-6、ピグメントグリーン 7；

土壌汚染対策法：

該当せず

大気汚染防止法：

揮発性有機化合物（VOC）：107-98-2、1-メトキシ-2-ヒドロキシプロパン；108-65-6、1-メトキシ-2-プロパノールアセタート；123-86-4、酢酸ブチル；141-78-6、酢酸エチル；64742-47-8、水素化精製軽質留出物（石油）；67-63-0、プロパン-2-オール；78-83-1、イソブタノール；
特定物質/揮発性有機化合物（VOC）：67-56-1、メタノール；
有害大気汚染物質：1328-53-6、ピグメントグリーン 7；147-14-8、ピグメントブルー 15；

特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律：

該当せず

危険物船舶運送及び貯蔵規則：

引火性液体類 3

航空法施行規則：

引火性液体 3

16 その他の情報

参考文献：

JIS Z 7253-2019_GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル・作業場内の表示及び安全データシート (SDS)、 JIS Z 7252-2019_GHSに基づく化学物質等の分類方法、 Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (GHS) 6th revised edition by UNITED NATIONS、 緊急時応急措置指針「ERG 2016版」容器イエローカードへの適用、 経済産業省発行事業者向けGHS分類ガイダンス平成25年7月、 独立行政法人製品評価技術基盤機構監修のGHS分類物質一覧、 一般財団法人化学物質評価研究機構 (CERI) 公開の化学物質ハザードデータ集。

責任の限定について：

本記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、法令の改正や新しい知見により改訂されることがあります。本製品を扱う場合は記載内容を参考にして、使用者の責任において実態に即した安全対策を講じてください。尚、本製品安全データシートは安全や品質の保証書ではありません。